

コスタリカ共和国への指導者派遣 報告 ～ Sport For Tomorrowの一環として ～ 小西 康仁

東海大学

I. はじめに

2013年9月、国際オリンピック委員会総会でのプレゼンテーションにおいて、安倍晋三内閣総理大臣は、スポーツ分野における我が国の国際貢献策として、スポーツ外交推進事業（Sports For Tomorrow）を発表した¹⁾。具体的には、「2014年から2020年までの7年間で、開発途上国をはじめとする100カ国以上、1000万人以上を対象に、世界のよりよい未来のために、未来を担う若者をはじめあらゆる世代の人々にスポーツの価値とオリンピック・パラリンピック精神を広げていく¹⁾」という内容である。

2015年度の取り組みでは、日本体操協会の協力のもと、コスタリカ共和国へ体操競技指導者を派遣することになった。男子体操競技の指導者として筆者が派遣されることとなった。以下、現地での活動概要を報告する。

II. 概要

派遣期間：2016年3月14日(月)～24日(木)

事業内容：選手、コーチ及び審判に対しての理論研修や実技研修

研修会場：オリンピカ体操クラブ
ベレン体操クラブ

III. 研修会報告

はじめの4日間は、コーチや審判に対して理論研修会を行った。筆者は主に大学生の指導を行っているため、シニア選手の指導方法を中心に研修会を進めていった。また、日本

体操界の現状とコスタリカ体操界の現状についてコーチや審判と意見交換する機会を設けることで、お互いの特長や問題点を明らかにし、解決策を巡って有意義なディスカッションをすることができた。

後半の3日間は、ジュニア選手とシニア選手に実技指導を行った。ジュニア選手に対しては、日本ではすでに多くのクラブで実施されるようになった基礎的なトレーニングを中心にを行った。シニア選手に対しては、現在演技構成に組み入れている、または現在練習中の技を中心に指導を行った。

IV. まとめ

今回の研修会を通して、コスタリカの男子選手は基本練習が少ないと感じた。そのため、基礎や基本練習のやり方はもちろんのこと、その重要性を伝えることに最も力を入れた。今後、コスタリカ体操界が更に発展することを期待したい。また今回の研修会が日本と友好な関係を築くことの一助になればと思う。

最後にこのような素晴らしい機会を設けて頂いた全ての方に、この場を借りて感謝申し上げます。

V. 参考文献

- 1) 「Sport for Tomorrow (SFT)」プログラム
ム 外務省
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/p_pd/ep/page22_001221.html> (参照 2016-11-11)